

れいわ ねんど
令和6年度

だい
第1 ふきゅうけいはつ
普及啓発

1 こうほう ぎょうじとう
広報・行事等

リーフレット、ポスター、^{けん}県ホームページ

※ ^{かいせいしょうがいしゃさべつ}改正障害者差別解消法（^{じぎょうしゃ}事業者による^{こうりてきはいりよ}合理的配慮の^{ぎむか}義務化）の^{しゅうち}周知

- ・ ^{けん}県ホームページ
- ・ ^{じぎょうしょ}事業所の^{かいごうとう}会合等における^{しゅうち}周知（4月～）
- ・ デジタルサイネージ「^{まち}わが街^{NAVI}」^{けいさい}掲載（5月～）
- ・ ^{しんぶん}新聞2紙「^し県政^{けんせい}インフォメーション」（^{がつ}6月）
- ・ ^{じょうほうし}情報誌「^{ろうどう}労働か^{がつ}ごしま」（6月）

2 ^{じぎょうしょとう}事業所等の^{けんしゅうかいとう}研修会等での^{せつめい}説明（^{けん}4件）

- ・ ^{けんれきし}県歴史・^{びじゅつ}美術センター^{れいめいかんしよくいんけんしゅう}黎明館職員研修（^{てん}展示解説員等^{たいしょう}対象）
- ・ ^{こうりてん}小売店舗^{ぼてんちやうけんしゅうかい}店長研修会
- ・ ^{しゃかいふくしほうじんしよくいんけんしゅう}社会福祉法人職員研修への^{でまえ}出前セミナー
- ・ ^{ちゅうがっこうしよくいんけんしゅう}中学校職員研修

3 ^{じぎょうしょとう}事業所等への^{こべつほうもん}個別訪問

- ・ ^{ほうもんけんすう}訪問件数 ^{けん}369件
- ・ ^{そふけんすう}リーフレット送付件数 ^{けん}163件

だい
第2 そうだんたいおう
相談対応

1 しょうがいし や く ら し あんしんそうだんいん はいちじょうきょう かく めい
障害者くらし安心相談員の配置状況（各1名）

はい ち さき 配 置 先	でん はなし ばん ごう 電 話 番 号	うけ つけ じ かん 受 付 時 間
しょうがいふくしか 障 害 福 祉 課	でんわ 電話： 099-286-5110 Fax ： 099-286-5558	ごぜん じ ～ ごご じ 午前9時 ～ 午後4時
おおすみち いきしんこうきよく 大隅地域振興局 ちいきほけんふくしか 地域保健福祉課	でんわ 電話： 0994-52-2108 Fax ： 0994-52-2120	
おおしましちょう 大島支庁 ちいきほけんふくしか 地域保健福祉課	でんわ 電話： 0997-57-7222 Fax ： 0997-57-7251	

2 しょうがいし や く ら し あんしんそうだんいん かつどうじょうきょう
障害者くらし安心相談員の活動状況

そう　だん　たい　おう 相　談　対　応		しょう　　がい 障　　害 ふく　し　か 福　祉　課	おおすみち　いき 大隅地域 しんこうきょく 振　興　局	おおしましちょう 大島支庁	けい 計
の　べ 延べ たいおう 対応 かいすう 回数		286	227	55	568
	ふ　り　え　きとりあつかい 不利益取扱い	0	0	0	0
	ごうりてきはいいりよ 合理的配慮	0	3	6	9
	その他	286	224	49	559

※ のべたいおうかいすう けいぞくそうだん たいおう ふくむ
延べ対応回数には、継続相談への対応を含む。

※ そうだんいんふさいじ ほかしよくいん たいおう けんすう ふくむ
相談員不在時に他職員が対応した件数を含む。

3 相談対応の具体的な相談事例

(1) 合理的配慮の相談事例

○ 商品の販売及び役務の提供

	相談者	年代	70代	性別	男	障害種別	内部障害
内容	<p>数年前、スーパーで買い物しているとき、身体障害があり重い物 を持ってないので、ヘルプカードを提示して「運んでほしい」と スタッフに相談したが、「うちでは使えません」と断られた。 ヘルプカードはどんな時に使うものなのか。</p>						
対応希望	事業所に対する啓発						
対応結果	<p>ヘルプカードは、外見では健康に見えても、配慮を必要として いる方が使うものであることを説明。日頃の啓発活動では 「ヘルプマーク・ヘルプカードを携帯している方が困ってい る様子であれば声をかけるように」と伝えていることを説明。 当該スタッフはヘルプカードを知らなかった可能性があること から、今後このようなことがないように、該店舗で啓発活 動を行うことを伝えた。 後日、当該店舗を訪問し啓発活動を実施した。</p>						

○ 交通機関の利用

	相談者	タクシー事業者
内容	<p>車椅子を利用する肢体不自由の高齢者が乗車する際に、身体介助 や配慮等を求められるが、乗務員には介護の知識もなく、責任が持て ない。</p>	
対応希望	対応方法の教示	
対応結果	<p>介護保険制度を使うことで解決できる場合もあるため、該 市町村の担当課や包括支援センターに相談するよう助言した。</p>	

○

	相談者	年代	40代	性別	おんな	障害種別	聴覚障害
ない 内 よう 容	こうえんかい 講演会やイベントに手話や要約筆記の情 報 保障があるのか問い合	しゅわ	ようやく	ひつ き	じょうほうほしょう	と い あ	
	わせたところ「ありません」との回答だった。	かいとう					
たいおうきぼう 対応希望	ごうりてきはいりょ 合理的配慮についての周知	しゅうち					
たいおうけつ 対応結果	しゅさいしゃ 主催者へ合理的配慮に関する相談があった旨を連絡すると ともに、 だいたいしゅだん 代替手段の検討と丁寧な説明の必要性について啓発 した。 しゅうち 相談者には、主催者からの回答とともに、県としても周知 けいはつ 啓発に努める旨伝えた。	ごうりてきはいりょ	かんすう	そうだん	むね	れんらく	けいはつ